

1教科目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2評価の観点及びその趣旨

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用 の技能	社会的事象についての知識・理解
歴史的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追及し、広い視野に立って我が国の伝統と文化について考え、東アジア諸国を中心とした世界の諸地域の歴史との関係において日本の歴史についての認識を養おうとする。	歴史的事象から課題を見だし、我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	年表や歴史地図、映像など、歴史的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して、効果的に活用し、読み取ったり図表などにまとめている。	我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色をふまえて理解し、その知識を身に付けている。


3歴史的分野の目標

- 歴史的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追及し、広い視野に立って我が国の伝統と文化について考え、東アジア諸国を中心とした世界の諸地域の歴史との関係において、日本の歴史についての認識を養おうとする。
- 歴史的事象から課題を見だし、我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現することができる。
- 年表や歴史地図、映像など、歴史的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して、効果的に活用し、読み取ったり図表などにまとめている。
- 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色をふまえて理解し、その知識を身に付けている。

4指導計画・評価計画表

1年	2年	3年	指導計画	評価規準			評価方法	
月	月	月		社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用 の技能		社会的事象についての知識・理解
1 2 月			第2章 1節 世界の古代文明と宗教のおこり 1 人類の出現と進化 2 古代文明のおこりと発展 3 中国文明の発展 4 ギリシャ・ローマの文明 5 宗教のおこりと三大宗教	・古代文明や宗教のおこり、古代の人々の生活のあらましに対する関心を高め、意欲的に学習している。 ・最新のニュースなどで、遺物・遺跡などの考古学的な発見について関心を持っている。	・金属器の使用、灌漑、文化の発生などから、古代文明の特色を捉え、日本の社会に与えた影響について考察している。	・古代文明や宗教のおこり、日本列島における人々の生活の変化、大和政権による統一などについて、さまざまな資料を活用している。	・古代文明や宗教が生まれたことに加え、古代の人々の生活の変化を理解している。	テスト ワークシート ノート 授業観察
1 月				2節 日本列島の誕生と大陸との交流 1 日本列島の誕生と縄文文化 2 弥生文化と邪馬台国 3 大王の時代	・古代までの日本列島の人々の生活のあらましに対する関心を高め、意欲的に追究している。	・縄文時代と弥生時代の違いについて考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・小国のおこりから大和政権による統一までの過程を、文献資料、古墳の分布、鉄剣などの資料を通して理解している。	・稲作が伝来した後の社会の仕組みや人々の生活の変化を理解している。
1 2 月			3節 古代国家の歩みと東アジア世界 1 聖徳太子の政治改革 2 大化の改新 3 律令国家の成立と平城京 4 奈良時代の人々の暮らし 5 天平文化 6 平安京と東アジアの変化 7 摂関政治と文化の国風化	・天皇、貴族の政治が展開され、国際的な要素をもった文化が後に国風化したことに関心をもち、意欲的に学習している。	・聖徳太子の政治から大化の改新を経て確立した律令国家が、どのような政治をねらっていたのか、その特色について考察している。 ・仏教の影響や文化を担った人々などに着目して、古代の日本において栄えた文化の特色について考察している。	・天皇、貴族の政治の展開についてのさまざまな資料を活用して、そのあらましを捉えている。 ・法隆寺や正倉院の宝物、かな文字など代表的な事例についてさまざまな資料を活用して、古代の文化の特徴をとらえている。	・聖徳太子の政治、大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程など、国家の仕組みが整えられ、その後の天皇・貴族の政治が展開されたことを理解している。 ・大陸の文化を積極的に取り入れた文化が都を中心に栄え、その中から日本的な文化が成立したことを、具体的な事例を通して理解している。	テスト ワークシート ノート 授業観察

2月	3月	4月	第3章 中世の日本	1節 武士の台頭と鎌倉幕府 1 武士の成長 2 武士の政権の成立 3 鎌倉幕府の成立と執権政治 4 武士の民衆の生活 5 鎌倉時代の文化と宗教	・武士が台頭し武家政権が成立したことや鎌倉時代の武士や民衆の動きに対する関心を高め、意欲的に学習している。 ・鎌倉時代の新しい文化と仏教に対する関心を高め、現在との結びつきについて意欲的に学習している。	・武士が台頭し武家政権が成立して、武士の支配が次第に全国に広まり、武家社会が発展していったという時代の流れを、幕府と朝廷の関係、土地制度の変化などから多面的・多角的に考察している。	・武士が台頭し武家政権が成立したことと、鎌倉時代の武士や民衆の動き、鎌倉文化に関するさまざまな資料を活用している。	・武士が台頭し武家政権が成立して、武士の支配が次第に全国に広まり武家政権が発展していったことを理解している。 ・鎌倉時代の新しい文化や仏教の特色を理解している。	テスト ワークシート ノート 授業観察
				2節 東アジア世界との関わりと社会の変動 1 モンゴルの襲来と日本 2 南北朝の動乱と室町幕府 3 東アジアとの交流 4 産業の発達と民衆の生活 5 応仁の乱と戦国大名 6 室町文化とその広がり	・鎌倉幕府の滅亡から戦国大名の登場までの武家社会の展開、経済の発達と社会の変化、室町文化に対する関心を高め、意欲的に学習している。 ・モンゴルの襲来、日明貿易、琉球の国際的役割など、東アジア世界とのつながりに関心を高め、意欲的に学習している。	・モンゴルの襲来や日明貿易が日本の政治や社会に与えた影響について、多面的・多角的に考察している。 ・自治的な仕組みの発生、武士や民衆の活力を背景にした新しい文化の誕生といった社会の変化を、農業をはじめとする諸産業の発達、政治の動きなどから多面的・多角的に考察している。	・鎌倉幕府の滅亡から戦国大名の登場までの武家社会の展開、経済の発達と社会の変化、室町文化に関するさまざまな資料を活用している。	・東アジア世界との関わりを背景に、鎌倉幕府の滅亡から戦国大名の登場までの武家社会の展開を理解している。 ・農業をはじめとする諸産業が発達し、都市や農村に自治的な仕組みが生まれたことや、武士や民衆の活力を背景にした新しい文化が生まれたことを理解している。	
8月	9月	9月	第4部 近世の日本	1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 1 キリスト教世界とルネサンス 2 ヨーロッパと外の世界 3 ヨーロッパ人との出会い 4 織田信長・豊臣秀吉による統一事業 5 兵農分離と朝鮮侵略 6 桃山文化	・活躍した人物に関心を持ち比較しながら調べようとする。 ・鉄砲やキリスト教を当時の人々がどうとらえたのか、進んで考えようとする。 ・近世社会の成立過程について関心を持ち学習している。	・戦国大名の支配から秀吉の全国統一の過程で社会がどのように変わったのか、具体的な政策の意味を説明できる。 ・中世に勢力をもっていた寺社の力が衰えたことに気付く。 ・ヨーロッパ世界の発展と、東南アジアとの交流が近世の日本社会にどのような変化をもたらしていったか、関連を考察することができる。	・ヨーロッパ人の渡来の影響と文化の変化を図版や資料から読み取ることができる。 ・図版や地図、年表など適切な資料を活用して、この時代の変化や特徴を説明できる。	・戦国時代から秀吉の時代までの歴史の流れをおおまかに説明できる。 ・戦国の動乱、ヨーロッパ人の渡来、当時の対外関係についてその経過を理解し、知識を身に付けている。	テスト ワークシート ノート 授業観察
				2節 江戸幕府の成立と鎖国 1 江戸幕府の成立と支配の仕組み 2 さまざまな身分と暮らし 3 貿易の振興から鎖国 4 鎖国下の対外成立	・江戸幕府の仕組みをすすんで調べようとする。 ・身分制度の意味を理解し、現代の正しい人権意識を持つことができる。 ・貿易統制から鎖国政策への転換について、意欲的に考えようとしている。	・幕藩体制成立期の具体的な政策が幕府の権力確立に関係があったことに気付く。 ・江戸時代の仕組みを民衆支配・大名統制・対外関係などから多角的にとらえることができる。	・資料や地図から大名統制や農民支配の実態を読み取ることができる。 ・対外関係についてさまざまな角度から調べてまとめることができる。	・江戸幕府の成立までの歴史の流れと幕藩体制についておおまかに説明できる。 ・歴史上の基本的な用語を理解している。	
1月	2月	3月	第5章 開国と近代日本の歩み	1節 欧米の進出と日本の開国 1 身分制社会での暮らし 2 新田開発と特産物の広がり 3 各地を結ぶ陸の道・海の道 4 上方で栄えた町人の文化	・産業の発達に関心をもち、当時の民衆の立場になって考えることができる。 ・江戸時代の文化について、自分の生活と結びつけて考えている。	・産業の発達で社会にどう変化を与えたか幕府、農民、商人の立場から考えることができる。 ・江戸時代の文化とその担い手を特色をつかんでまとめることができる。	・幕府の改革について、わかりやすくまとめることができる。 ・江戸時代の文化とその担い手を特色をつかんでまとめることができる。	・江戸時代後半の社会の変化のようすと改革をおおまかに説明できる。 ・江戸時代の文化を支えた人物やできごとを正しく理解している。	テスト ワークシート ノート 授業観察
				1節 欧米の進出と日本の開国 1 近代革命の時代 2 産業革命と19世紀のヨーロッパ 3 ロシアとアメリカの発展 4 ヨーロッパのアジア侵略 5 開国と不平等条約 6 尊王攘夷運動と開国の影響 7 江戸幕府の滅亡	・当時の状況を理解した上で、さまざまな立場になって、開国か攘夷かの意見を積極的に述べるができる。 ・開国や幕末の身近な地域の変化について関心をもち、さまざまな資料から調べようとする。	・産業革命後の欧米の動きとアジア侵略の背景や理由を考えることができる。 ・開国を世界史の流れの中でとらえることができる。	・基本的資料から、開国の不平等性を指摘できる。 ・グラフから、アジアや日本の経済に与えた影響を説明できる。	・ヨーロッパの市民革命や産業革命、アジアの植民地化までの流れをおおまかに説明できる。 ・江戸幕府滅亡までのおおまかな流れを説明できる。 ・明治維新の改革をおおまかに説明できる。	テスト ワークシート ノート 授業観察
3月	4月	4月	第6章 近代日本の歩み	3節 日清・日露戦争と近代産業 1 欧米列強の侵略と条約改正 2 日清戦争 3 日露戦争 4 韓国と中国 5 産業革命の進展 6 近代文化の形成	・日清・日露戦争の原因を当時の国際情勢の中から進んで調べようとする。	・当時の国際情勢を支配する側、支配される側、国内のようすなどさまざまな側面から考えることができる。	・資料やグラフから産業革命が日本の社会に与えた影響を考えることができる。 ・作品などから文化の特色を読み取ることができる。	・日清・日露戦争のころの歴史の流れをアジアとの関係をもとに、おおまかに説明できる。	テスト ワークシート ノート 授業観察

	4月	第6章 二度の世界大戦と日本	1節 第一次世界大戦と日本 1 第一次世界大戦 2 ロシア革命 3 国際協調の高まり 4 アジアの民族運動 5 大正デモクラシーと政党内閣の成立 6 広がる社会運動と普通選挙の実現 7 新しい文化と生活	・アジアの民族独立運動に関心をもち、民衆の動きを具体的に調べ、民族自決への願いに関心をもち。	・護憲運動や普通選挙運動の動きをまとめ、民衆運動の発展ととらえている。	・写真の資料などから、民衆生活について、わかりやすくまとめることができる。	・第一次世界大戦前後の歴史の流れをおおまかに説明できる。	テスト ワークシート ノート 授業観察
	5月	2節 世界恐慌と日本の中国侵略	1 世界恐慌とブロック経済 2 欧米の情勢とファシズム 3 昭和恐慌と政党内閣の危機 4 満州事変と軍部の台頭 5 日中戦争と戦時体制	・戦争の経過をすすんで調べ、戦域が拡大していることに自分から気づく。	・ドイツと日本がなぜ侵略戦争をはじめたのか理由を考え、現代の視点から自分の意見を述べるができる。	・地図「第二次世界大戦中のヨーロッパ」「アジア・太平洋での戦争」を用いて戦争の経過を説明できる。	・第二次世界大戦の原因・経過・結果について、簡単にまとめることができる。	テスト ワークシート ノート 授業観察
	5月	3節 第二次世界大戦と日本	1 第二次世界大戦の始まり 2 太平洋戦争の開始 3 戦時下の人々 4 戦争の終結	・戦争体験をすすんで調べたり、経験者から直接聞くとする。 ・調べることから自分で見つけることができる。 ・調べてわかったことをもとに、つぎに調べることや、疑問点を見つけることができる。	・日本の軍国主義化について、批判的に考えることができる。 ・他の班の発表を聞いて、自分が調べたことと関連づけて考えることができる。 ・調べたことや、発表を聞いて、第二次世界大戦の被害の大きさをつかみ、平和な世界を築く意志をもつ。	・学習するテーマごとに、自分の調べる課題にあう資料を発見し、利用することができる。 ・図や表などを活用し、わかりやすくまとめるように、工夫することができる。 ・はっきり要点をつかんで具体的な事実を整理することができる。	・どのようなできごとがあったのか、歴史の流れを簡単に説明できる。 ・当時の人々の生活について、なぜそうなったかもふくめて説明できる。 ・戦争の被害や加害の事実について例をあげて説明できる。	
	6月	第7章 現代の日本と世界	1節 戦後日本の発展と国際社会 1 占領下の日本 2 民主化と日本国憲法 3 冷戦の開始と植民地の解放 4 独立の回復と55年体制 5 緊張緩和と日本の外交 6 日本の高度経済成長 7 マスメディアと現代の文化 2節 新たな時代の日本と世界 1 冷戦後の国際社会 2 変化の中の日本 3 持続可能な社会に向けて	・戦後の社会の変化について、体験を聞いたり、資料を探したり、すすんで、調べようとする。 ・戦後の国際社会の変化によって、起きているさまざまな問題に関心をもちている。 ・日本の経済成長がどのように自分たちの生活にもつながっているか調べようとする。 ・平等な権利をもつ人間として、世界的な視野に立って、自分の意見を言えるようにしようとする。	・GHQの民主化政策が当時の社会をどう変えたのか、戦前との違いを考えることができる。 ・東西の対立とその後国際情勢が、日本の政治に影響していたことに気付く。 ・高度成長の問題点とその点の解決や推移について客観的に説明できる。 ・今後の世界や日本のあり方について、意見を述べるができる。	・当時の写真や地図、統計資料を使って、戦後と戦前の違いを説明できる。 ・東西対立と冷戦の終結を年表や地図に表すことができる。 ・高度成長以前と以後の調布を地形図から読み取ることができる。 ・自分が政治家ならどう日本を変えたいか、具体例をあげ、わかりやすく発表できる。	・民主化政策や憲法制定までの動きを大まかに述べるができる。 ・東西対立や冷戦終結までの国際社会の変化を簡単に説明できる。 ・高度経済成長とそれともなう新たな社会問題について、例示できる。 ・現代の日本のおかれている立場を理解している。	テスト ワークシート ノート 授業観察
				・冷戦終結から現在にいたるまでの各家庭の出来事と関わる、日本や世界に関心をもっている。	・現代社会の発展だけでなく、問題点についても公正に判断し、自分の意見を述べることができる。	・写真や資料から世界の変化や現状、日本の国民生活の変化を読み取っている。	・高度経済成長から現在に至るまでの日本の歩みの概要を理解し、その知識を身に付けることができる。 ・国内外の動きや国際社会における日本の役割を理解している。	テスト ワークシート ノート 授業観察